

札幌市を取り巻く社会経済情勢は、人口減少や高齢化の急速な進行など、今後10年間で大きく変化することが見込まれており、市民の暮らしや地域経済などに様々な影響を与えることが予測されています。

こうした状況の中で、先人たちが築き上げてきたこのまちの魅力を更に高め、将来を担う子どもたちの輝かしい未来を創造していくためには、札幌が持つ強みを生かすとともに、時代の潮流を的確に捉えながら、経営資源の集中的な投下など、「選択と集中」により戦略的にまちづくりを進めていくことが重要となります。

このため、先に策定した「札幌市まちづくり戦略ビジョン<ビジョン編>」に掲げる目指すべき都市像「北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち」と、「互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち」の実現に向けて、主に行政が優先的・集中的に取り組むことを示した<戦略編>を策定しました。

この<戦略編>には、超高齢社会の到来に伴う様々な地域課題を克服するための「暮らし・コミュニティ」、生産年齢人口の減少に伴う経済規模の縮小を克服するための「産業・活力」、そして、低炭素社会と脱原発依存社会を実現するための「低炭素社会・エネルギー転換」の3つの重点テーマを掲げています。

私たちがかつて経験したことのない社会経済情勢の変化の中で、最も大きなパラダイムの転換が必要となるこれらのテーマに沿った施策を重点的に展開していくためには、市民一人一人の創造性から湧き出るアイデアと行動力を結集し、一丸となって取り組むことが重要であり、このことにより、私たちは、今後待ち受ける様々な困難を柔軟に乗り越え、「新たな創成期」を切り開いていけるものと確信しています。

「札幌市まちづくり戦略ビジョン」は、市民と共有し、共に進めていく「市民計画」です。このビジョンに基づき、市民の皆様と「札幌らしい将来のまちの姿」を思い描き、共に築き上げていくことによって、世界に誇る魅力的な札幌のまちを将来に引き継いでいきたいと考えております。

平成25年（2013年）10月

札幌市長 **上田 文雄**



目次

はじめに	1	創造戦略 6 産業人材創造戦略	14
1 戦略編の策定趣旨	1	第3節 低炭素社会・エネルギー転換	16
(1) 将来の見通しと課題	1	創造戦略 7 低炭素都市創造戦略	16
(2) 都市経営戦略の必要性	1	創造戦略 8 次世代型エネルギー創造戦略	18
2 戦略編の展開に当たって	1		
第1章 創造戦略	2	第2章 戦略を支える都市空間	20
第1節 暮らし・コミュニティ	4	1 都市空間創造の基本目標	20
創造戦略 1 地域福祉力創造戦略	4	2 目指す都市空間と都市空間創造戦略	21
創造戦略 2 共生社会創造戦略	6		
創造戦略 3 地域マネジメント創造戦略	8	第3章 戦略の展開に当たって踏まえるべき	26
第2節 産業・活力	10	行財政運営の視点	
創造戦略 4 札幌型産業創造戦略	10	成果指標一覧	27
創造戦略 5 都市ブランド創造戦略	12		

まちづくり戦略ビジョンの全体像

ビジョン編

第1章 はじめに

第2章 社会経済情勢の変化と札幌

第3章 私たちが目指す札幌市の将来

目指すべき都市像

北海道の未来を
創造し、世界が憧れるまち

互いに手を携え、
心豊かにつながる共生のまち

第4章 まちづくりの基本目標

地域

経済

子ども・若者

安全・安心

環境

文化

都市空間

第5章 ビジョンの推進に当たって

基本理念

札幌の未来をつなぐ
子どもたちのために

基本姿勢

- ◆市民が主役のまちづくり
- ◆まちの活力を高める人づくり
- ◆北海道と共に発展する札幌
- ◆限りある資源の有効活用と共創

戦略ビジョンの効果的推進

今後10年間で最も大きなパラダイムの転換が必要となるテーマを選択し、集中的に施策を展開

戦略編

第1章 創造戦略

暮らし コミュニティ

- 1 地域福祉力創造戦略
- 2 共生社会創造戦略
- 3 地域マネジメント創造戦略

産業 活力

- 4 札幌型産業創造戦略
- 5 都市ブランド創造戦略
- 6 産業人材創造戦略

低炭素社会 エネルギー転換

- 7 低炭素都市創造戦略
- 8 次世代型エネルギー創造戦略

第2章 戦略を支える都市空間

都市空間創造の基本目標

持続可能な札幌型の集約連携都市への再構築を進める

都市空間創造戦略

- 1 魅力ある市街地
- 2 活力があふれ世界を引きつける都心
- 3 多様な交流を支える交流拠点
- 4 持続可能な都市を支えるネットワーク
- 5 都市基盤の維持・保全と防災力の強化

第3章 戦略の展開に当たって踏まえるべき行財政運営の視点

- ◆市民自治の更なる深化
- ◆変化に対応できる組織
- ◆持続可能な財政運営
- ◆サービス水準や受益と負担の在り方
- ◆市有財産の保全と活用
- ◆市民・企業などとの連携の強化
- ◆北海道と道内市町村との連携体制の確立

はじめに

1 戦略編の策定趣旨

人口減少や少子高齢化の急速な進行に伴う様々な社会課題や地域課題が想定される中、このまちの輝きを次世代に引き継いでいく必要があることから、こうした課題に果敢に挑戦していくための羅針盤とも言べき、札幌市の新たな都市経営戦略として、この札幌市まちづくり戦略ビジョン〈戦略編〉を定めるものです。

(1) 将来の見通しと課題

ビジョン編では、「社会経済情勢の変化と札幌」に示す課題に対し、第5章「ビジョンの推進に当たって」において、7つのまちづくりの分野を横断的な視点で整理し、「選択と集中」の観点から、今後、戦略を持って取り組むべき3つのテーマを導き出しており、これらに沿った施策を重点的に展開していく必要があります。

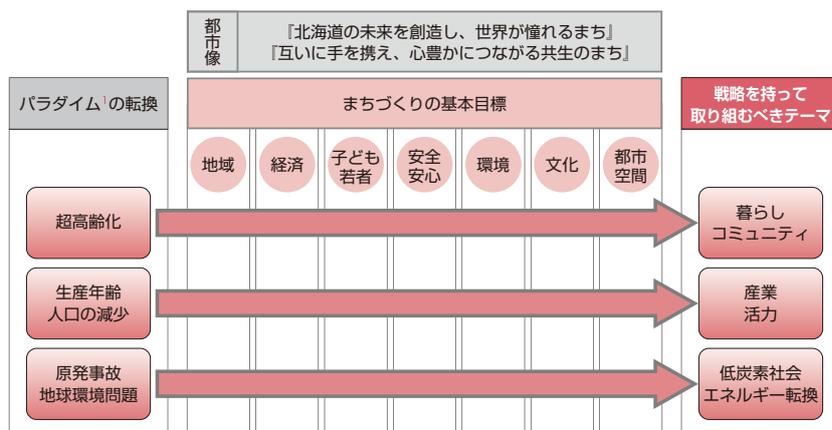
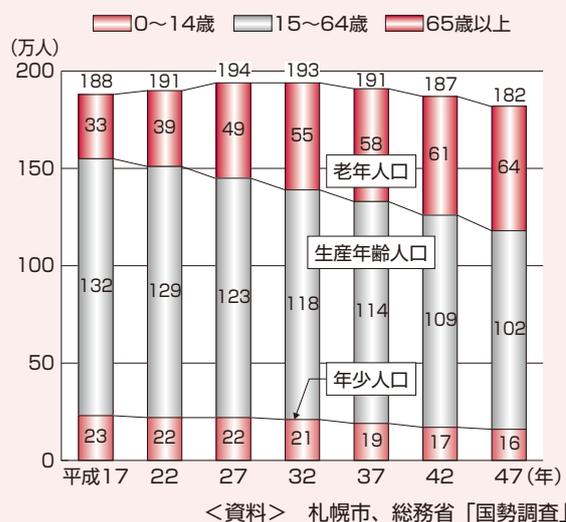
一方、今後の財政状況は、生産年齢人口の減少などの影響により市税等の伸び悩みが懸念される一方で、社会保障関係費などの増加が見込まれ、札幌市の財政状況の先行きは厳しい局面にあると言えます。

(2) 都市経営戦略の必要性

先人たちが築き上げてきたまちの魅力を更に高め、将来を担う子どもたちの輝かしい未来を創造するためには、札幌の強みや弱みを分析した上で、戦略を持って取り組むべきテーマへの経営資源の集中配分を行うための指針と、その展開を支えるための新しい時代に対応する行財政運営の視点が必要となっています。

そこで、このまちの魅力を高めていくためのまちづくりの指針として、「創造戦略」、「都市空間」、「行財政運営の視点」を示し、これを札幌市の都市経営戦略とします。

図1 札幌市の人口の将来見通し



2 戦略編の展開に当たって

展開に当たっては、市民や企業などの多様な活動主体と協力しながら取り組んでいきます。また、この戦略の方向性に沿った中期実施計画などを策定していくとともに、各分野における個別計画の策定や見直しを行い、具体的な取組を進めていくことで、戦略の着実な推進を図ります。

また、目標とする成果指標やロードマップを設定するなど、実現性を確保するための目安を設け、明確な進捗管理を行うとともに、適宜、中間点検や評価を実施し、時代の変化に対応していきます。

¹ 【パラダイム】ここでは、ある時代や分野において支配的規範となる「物の見方や捉え方」のことをいう。